糖尿病ケアサポートチーム

ニュースレター 第2刷

2015.4

発行日：平成27年4月1日
発行元：糖尿病ケアサポートチーム企画運営委員会

チーム発足3年目！

三好秀明副チーム長のご挨拶

全ての医療職種の専属スタッフからなる糖尿病ケアサポートチームが北海道大学病院の正式な診療ユニットとしてスタートして3年が経過しました。1995年に始まった当科の糖尿病教育入院がベースとなり進化したこのチームですが、この20年の間に本邦の糖尿病患者は約1.5倍に増え(予備軍含め2,050万人)、現在60歳以上の3人に1人は糖尿病もしくは予備軍といった状態であります。その中、65歳の高齢者人口が北海道では29.4%に達し、増加する高齢者糖尿病に対する治療、認知症や骨粗鬆症、癌など糖尿病の合併症としてはこれまでフォーカスされてこなかった領域への対策も必要となってきました。

反対に、糖尿病教室はむしろまだ比較的若い患者が将来合併症を発症・進展させないための体験教育の場となります。新たな治療薬や血糖モニター付きのCSIIなど新たな治療法も次々開発が進んでいます。病院全科にわたって入院している多種多様の患者さんに、多彩になった治療法を適切に安全に使用する為、今後も私たちケアサポートチームを多いに利用していただければ幸いです。医療者が正しい知識と対応を共有することは、原疾患治療のアウトカム改善やリスクマネージメントの向上につながります。このチームが皆様の協力のもと更に発展していくことを祈念しています。

昨年は、こんな活動をしました

5月 よろず相談

6月 インスリン講演会

9月 糖尿病講座 コーチング

糖尿病ケアサポートチームの活動は、5月の看護の日イベントの一環として、市民の皆様の健康維持にむけ「糖尿病よろず相談」を開催することから始まります。11月の糖尿病Dayには市民公開講座「糖尿病治療最前線」を企画し、いずれも昨今の健康意識の高まりを反映し、好評を得ています。院内活動としては、医療者の皆様の療養指導に役立てていただけるように6月にインスリン講習会、9月に糖尿病講座「楽しく学ぶコーチングセミナー」を開催しましたが、いかがだったでしょうか？知りたい、学びたいことがありましたら、いつでもリクエストにお応えしていきたいと考えています。

7月 患者会 あすなろ

他にもCDEセミナー 症例検討会など開催

11月 市民公開講座

＊お知らせ＊

今年度も多数、研修会を開催する予定です。
お気軽にご参加下さい。
CDE取得を目指している方の勉強会もあります。
また、糖尿病に関する患者相談も受けつけています。
ぜひ、ご連絡下さい。
連絡先：
内科Ⅱ糖尿病医師
糖尿病看護認定看護師